

2014年度 後期		リフレクションペーパー					
学科名	生物環境化学科						
科目名	初級英会話II						
科目区分	リテラシー科目	単位数	1	開講時期	後期		
必修・選択の別	選択必修						
担当者	肥川 絹代						
授業の到達目標 (シラバスから)	<p>本講座では、英語によるコミュニケーションの実践編として、海外での様々な場面での会話の仕方を学んでいく。更に、異文化にふれ、多様性への理解も深めていく。具体的には下記の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行に必要な英語を習得。</li> <li>・シチュエーション毎に英語による質疑応答の習得。</li> <li>・語彙の増強</li> <li>・文化の多様性の理解</li> </ul>						
日程と内容	<p>第1回：導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法 Unit 1  第2回：Unit 2 It's Good to See You Again!  第3回：Unit 3 Sightseeing in Kansai  第4回：Unit 4 Off to San Francisco  第5回：Unit 5 After a Long Flight  第6回：Unit 6 A Warm Welcome  第7回：Unit 7 Out and About in San Francisco  第8回：Review 1  第9回：Unit 8 A Visit to the University of California  第10回：Unit 9 A Cafe Lunch Date  第11回：Unit 11 A Hilly Downtown Workout  第12回：Unit 13 Buying Gifts for Friends and Family  第13回：Unit 14 San Francisco Gourmet  第14回：Unit 15 Until We Meet Again  第15回：Review 2</p> <p>定期試験</p>						
成績評価基準	定期試験	40%	実技				
	臨時試験	20%	部外評価				
	報告書・レポート	15%	プレゼンテーション	10%			
	課題	15%					
	演習		計	100%			
授業到達目標の達成度	<p>Students become able to speak simple English a little bit more than before.  They become to listen to simple English more than before.  They practices communication in English, so they seem to communicate a little bit more than before.</p>						
反省点	<p>リスニング力およびコミュニケーション力が少しいたようではある。場面設定をしての複数での会話練習は、ほとんどの学生が楽しそうに取り組んでいたことを鑑みると、日常生活で英語を使用する機会に恵まれると効果は倍増するであろう。そのような場をどのように設定するかが今後につながっていくことと考える。</p>						
来年度の計画	<p>小学生から英語が導入され、英語での授業も中学・高校で行われていく。また、社会に出ても、もはや国境を越えた人・物の移動によって、生活および働き方自体が大きく変わっていく。そういった流れの中で、基本的なことを大切にしながらも、英語を通して得られる知を学生が獲得できるよう、知的刺激を与えていきたい。10年後、15年後を見据えた会話力(洞察力・判断力)を付けてもらいたい。</p>						
授業評価アンケートに対するコメント	<p>概ねいい評価である。多くの学生が自主レポートとして、英語のテレビ・ラジオ番組を視聴後、あるいは英語の本を読んでレポートを提出という作業は、きっと学生の力となっていることであろう。また、毎回チェックテストを行ったリ、abc news shower を視聴したことによる学力アップも自覚できたのではないと思う。</p>						
履修登録者数	32名	定期試験 受験者数	31名	合格者数	28名	合格率	90%